



人権の
ひろば

● 人権推進課 ☎84-1228

自分らしく生きること、 安心して暮らすこと

— 知っておきたい「SRHR」とインターネット上の人権 —

◆性と生殖に関する健康と権利

「SRHR」を知っていますか◆

「セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ(SRHR)」とは、自分の身体や人生は自分のものであり、妊娠や出産、性的指向や性自認など、性と生殖に関するあらゆることについて、すべての人が自分の意思で選択でき、生涯にわたって健康を保てることを目指す考え方です。

英語の Sexual and Reproductive Health and Rights (セクシュアル・アンド・リプロダクティブ・ヘルス・アンド・ライツ)の頭文字から「SRHR(エスアールエッチアール)」とも呼ばれ、右の4つの意味を含んでいます。

私たちの暮らしの中には、知らないうちに性を理由とした不利益や思い込みが残っていることがあります。こうした権利について知ることは、自分自身を大切にするとともに、互いを尊重し合える社会づくりにつながります。



① セクシュアル・ヘルス

性に関することについて、心身ともに満たされ幸せを感じられる状態であり、そのあり方が社会的にも尊重されていること

② リプロダクティブ・ヘルス

子どもを持つ・持たないなど、どのような選択をする場合でも、心身ともに健康でいられること

③ セクシュアル・ライツ

性のあり方について、自分で選び決めることができる権利

④ リプロダクティブ・ライツ

妊娠や出産に関することを、自分の意思で選び決めることができる権利

◆インターネット上の差別を許さないために◆ —鳥取県人権尊重の社会づくり条例が改正されました—

鳥取県では、全国に先駆けて1996年に「人権尊重の社会づくり条例」を制定し、あらゆる差別の解消と、すべての人の人権が尊重される社会づくりを進めてきました。

近年は、SNSの普及などを背景に、インターネット上での誹謗中傷や差別的な書き込みが社会問題となっています。こうした状況に実効性をもって対応するため、条例が改正されました。

今回の改正では、人権侵害に関する相談に基づき、投稿の削除要請や削除命令、命令に従わない場合の発信者名の公表や過料などが定められました。被害の拡大を防ぐとともに、県民を被害者にも加害者にもさせないための取り組みが進められます。

インターネットは便利な情報発信の場である一方、使い方によっては誰かの人権を傷つけてしまうことがあります。一人ひとりが相手を思いやり、安心して暮らせる社会をみんなで作っていきましょう。

問い合わせ／鳥取県人権・同和対策課 ☎0857-26-7677



県ホームページ

【今回の主な改正ポイント】(1月施行)

● 相談者への支援内容を明確化

人権相談窓口で、投稿の削除要請や発信者情報開示請求をサポートします。

● 投稿等の削除要請・削除命令

- ・ SNSなどのサービス提供者や事業者や発信者へ削除を要請
- ・ 削除されない場合は、発信者へ削除命令を行います。

● 命令に従わない場合の対応

- ・ 氏名や名称、命令内容の公表
- ・ 5万円以下の過料